

ソフトピアジャパン 施設概要

ソフトピアジャパンセンタービル / アネックス

●センタービル（1996年6月オープン）

構造：地上13階、地下2階、塔屋1階
敷地面積：20,878.00㎡ 建築面積：4,432.65㎡
延床面積：35,939.54㎡ 軒高：57.15m

●アネックス（1998年2月オープン）

大垣市情報工局との区分所有施設/
アネックス専有部分：3・4階
構造：地上5階、地下1階
敷地面積：4,000.03㎡ 建築面積：1,999.82㎡
延床面積：9,293.52㎡ 軒高：27.85m



技術開発室への企業入居を募集するとともに、施設の一般貸出しを行っている。

その他財団事務室、研究開発施設、大学とともに共同研究を行う共同研究室など様々な機能を有している。

- ・ 営業事務所
- ・ セミナーホール
- ・ 会議室

ドリーム・コア

■ 全国インキュベーションセンター& 全国マルチメディア専門研修センター

● 全国インキュベーションセンター
インキュベーション推進事業の拡充を
目的としたインキュベーション施設。
・ インキュベーションルーム100室

● 全国マルチメディア専門研修センター
人材育成の拠点として建設された
マルチメディア研修施設。



● 2000年8月オープン
構造：地上6階、地下1階
敷地面積：3,864.32㎡
建築面積：1,835.85㎡
延床面積：8,528.32㎡
軒高：28.70m

ワークショップ24

● 2002年5月オープン
ソフトピアジャパンの関係者の業務や日常
生活の利便を24時間サポートする施設。

構造：地上10階
敷地面積：3,982.32㎡
建築面積：1,861.57㎡
軒高：44.54m
※岐阜県住宅供給公社が建設・運営

- ・ 営業事務所
- ・ 賃貸住宅
- ・ 飲食店
- ・ 簡易宿泊施設

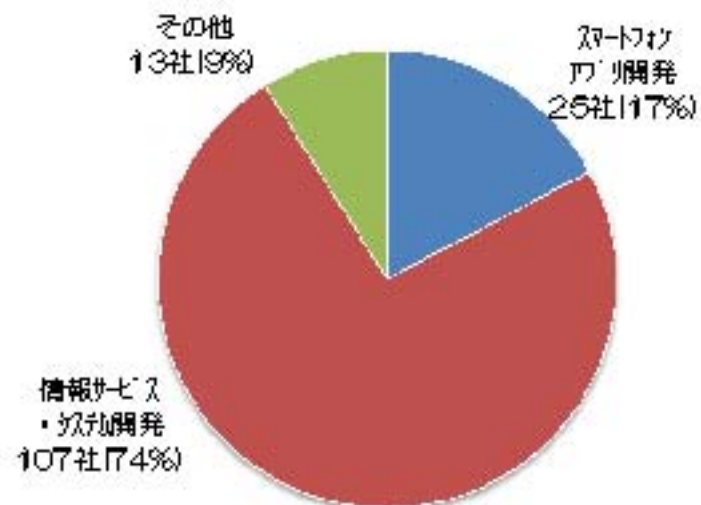


ソフトピアジャパン入居企業の内訳（入居企業数145社（H23.10現在））

建物別企業数



業態別企業数



IAMASについて

IAMAS（イアマス）は、情報科学芸術大学院大学と国際情報科学芸術アカデミーという岐阜県立の二つの学校の総称。

高度情報化を重要な政策とする岐阜県が、情報社会の新しいありかたを創造する表現者の養成、人材養成の拠点として、ソフトピアジャパンとともに設立。



情報科学芸術大学院大学 (Institute of Advanced Media Arts and Sciences)

- メディア表現研究科
- 平成13年開学
- 2年制 1学年20名
- 大学院（修士課程）
- 入学資格：大卒以上

県立国際情報科学芸術アカデミー (International Academy of Media Arts and Sciences)

- マルチメディア・スタジオ科
- 平成8年開学
- 2年制 1学年30名
- 専修学校
- 入学資格：高卒以上

<参 考>国内外での実績（最近の事例）

(1) 教員の活動による成果（最近の事例）

- 文化庁H22芸術選奨受賞、アルス・エレクトロニカ2007グランプリ受賞（大学院大学：三輪直教授）
- (独)情報処理推進機構の「未踏ソフトウェア創造事業」において、「天才プログラマー・スーパークリエイター」に認定（アカデミー：古堅教授） など

(2) 学生、卒業生の活動による作品の受賞（最近の事例）

- イマジンカップ2008 ソフトウェアデザイン部門 日本大会2位（ANDコース学生）
- 文化庁メディア芸術100選・アート部門50選に入選（卒業生）
- 武満徹作曲賞優勝（卒業生） など

プロジェクトの背景

I AMAS

I AMAS文化

- ▶ 優秀なタレント（教員、学生）の存在
- ▶ アカデミックな環境、やりたいことができる自由な環境
- ▶ 教員と学生、学生同士の繋がりにより生み出される独創的なプロダクト

iPhone

Flash

デザイン

音楽

建築

学

ゆるやかな連携
(町内会のお付き合い)

産

地元IT企業

- ▶ 多数の優秀な人材

モノづくり企業

- ▶ 高い技術力

官

岐阜県

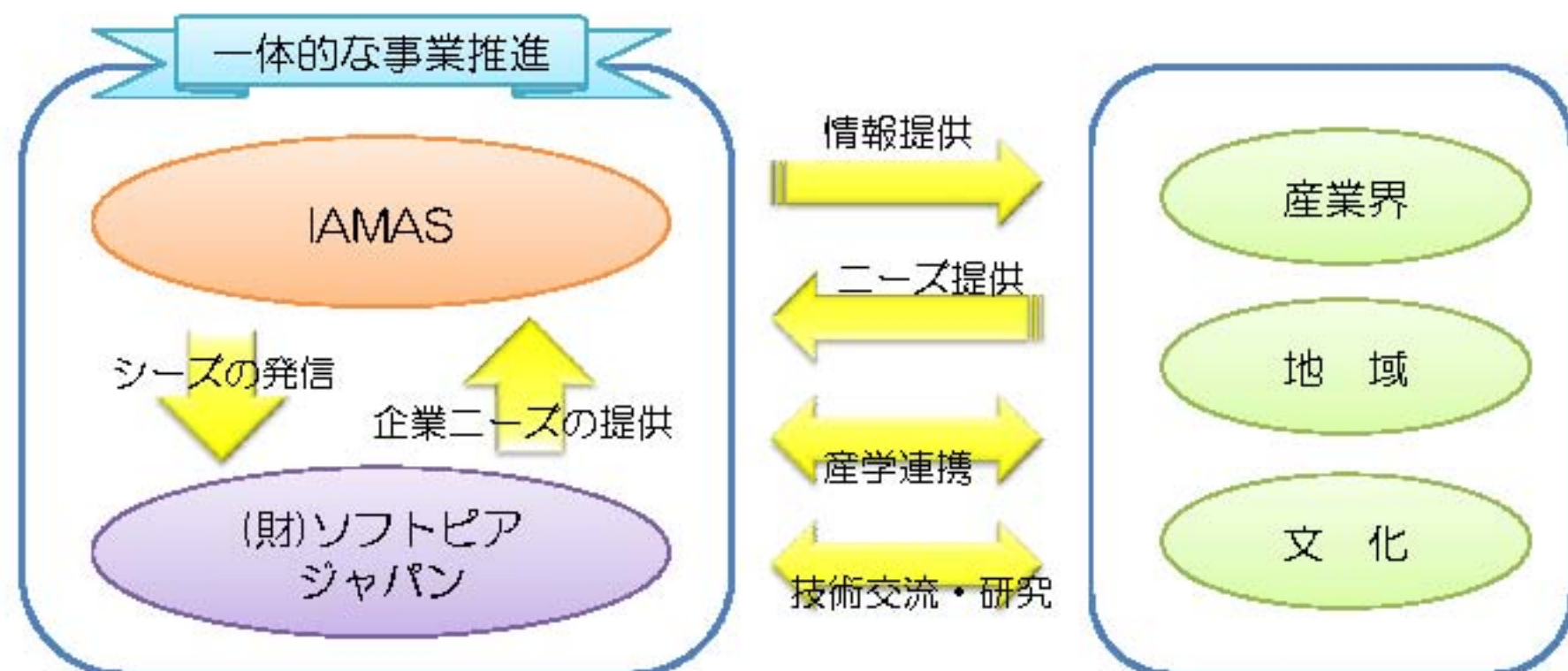
- ▶ 積極的な広報
- ▶ 交流の場の提供
- ▶ 人と人のマッチング

IAMAS移転を踏まえたソフトピアジャパンの方向性

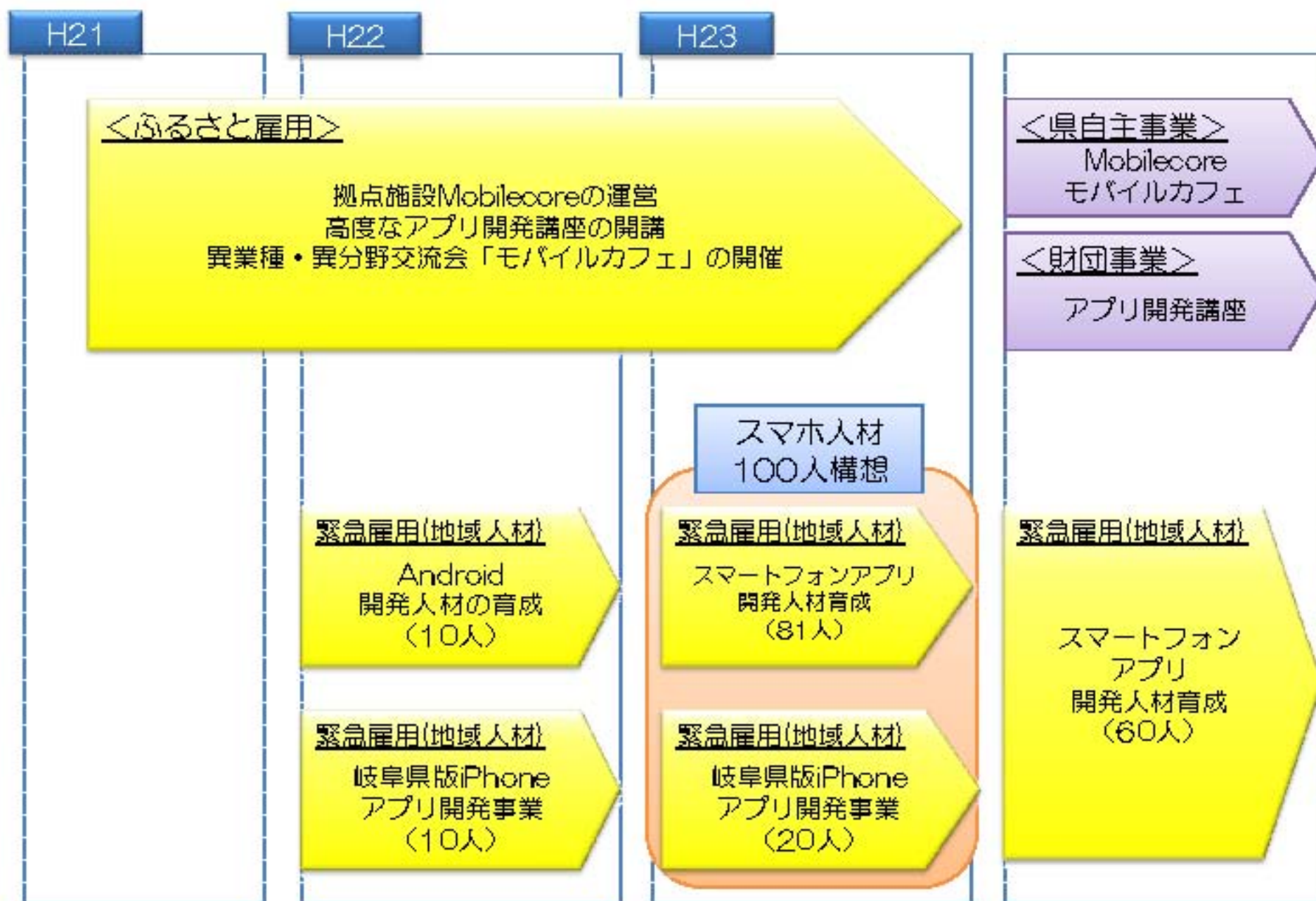
先端技術情報の発信と人材の集積・交流により、「ハードを活かした」企業集積から「技術・サービスに集まる」企業集積への転換を図る。

- ① IAMASをコア機能に据えた、新しいサービスを創造する情報発信拠点へ
- ② 「ITとモノづくり」による産業振興に重点を置き、企業間連携、産学間連携による競争力のある新商品・新サービスの創出を推進

移転によるソフトピアジャパンとの一体性強化 = 両者の価値向上・産業の振興



緊急雇用基金の活用によるプロジェクトの推進



今年度の取り組み

雇用対策基金を活用し、岐阜県版スマートフォンアプリ開発や、スマートフォン全体を視野に入れたアプリ開発人材を育成・輩出

スマートフォンアプリ開発人材育成事業

概要：スマートフォン全体を対象に、今後の市場動向を視野に入れアプリ等開発人材を育成
雇用者数：80人程度
事業費：359,326千円（緊急雇用創出事業臨時特例基金）

岐阜県版iPhoneアプリ開発事業

概要：iPhoneアプリ開発技術の研修を行い、アプリ開発人材の育成と岐阜県独自のiPhoneアプリを開発・改修
雇用者数：20人
事業費：69,038千円（緊急雇用創出事業臨時特例基金）

スマートフォンプロジェクト推進拠点運営事業

概要：プロジェクトの中心拠点として、iPhone塾、Android塾の開講やモバイルカフェの開催に加え、企業間のマッチング、世界に向けた情報発信機能を強化
雇用者数：6人
事業費：51,227千円（ふるさと雇用再生特別基金）

スマートフォン関連事業者の集積、地域IT企業の新規事業の参入促進
スマートフォンアプリ開発の一大拠点としてのソフトピアエリアのブランド化を推進

岐阜県実施事業の応募状況

○スマートフォンアプリ開発人材育成事業 応募状況

受託者名	雇用 予定数	応募人数	倍率
FEYNMAN・パソナテック運営共同体	20	58	2.9
パイザー株式会社	15	50	3.3
トリガーデバイス・ゴッコ委託業務共同体	5	18	3.6
株式会社電算システム	10	31	3.1
株式会社インフォフォーム	5	27	5.4
岐阜IT協同組合	9	32	3.6
アデコ株式会社テクノブレイン事業部名古屋支社	9	101	11.2
アワーズ株式会社	8	18	2.2
計	81	335	4.1

○岐阜県版iPhoneアプリ開発事業 応募状況

受託者名	雇用 予定数	応募人数	倍率
FEYNMAN・パソナテック運営共同体	20	81	4.1

総合計	募集人数	応募人数	倍率
	101	416	4.1

プロジェクト推進の効果例

岐阜県・ソフトピアの知名度向上、ブランド化促進

- 「岐阜県版iPhoneアプリ開発事業」による岐阜県公式アプリ開発・公開

交流人口の増加

- 緩やかな連携、コミュニティの形成による交流人口の拡大

受託企業の成長、業務受注機会の増加

- 雇用対策事業受託企業における既存従業員への刺激
- スマートフォン関連業務への新規着手
- 首都圏等からのスマートフォン開発案件受託の増加

失業者の能力向上・就業促進

- 高度な技術を持つ人材へと育成することによる高い就業率
(例) 平成22年度人材育成事業の卒業生就業率：95%以上

岐阜県・ソフトピアの知名度向上、ブランド化促進

岐阜県公式アプリとして、3本を「岐阜県」名義にて「App Store」で公開中

特 徴

- ・自治体自身の名義としてのアプリ公開は全国初！
- ・基金事業の研修生がOJTの一環で企画・開発まで実施

「ミナモカメラ」

スマートフォンに搭載されたカメラにより、両大会キャラクターのミナモと記念撮影ができるアプリ



「ミナモナビ」

両大会の競技や会場周辺の観光情報を紹介するアプリ。



「紙合わせミナモ」

神経衰弱の要領で、様々なミナモの絵柄を合わせていく簡単なゲームアプリ。



効 果

- ・スマートフォンアプリ開発拠点としてのブランド力向上
- ・県施策、イベントと連動することで、イベント自身のPRにも寄与

交流人口の増加、コミュニティの形成

人材育成の拠点モバイルコアを中心として、ソフトピアジャパンエリアのアプリケーション開発者等が集まることで、企業間の「ゆるやか」な連携が生まれるとともに、「人が人を呼ぶ」という効果も見られる。



モバイルカフェ : 毎週木曜日実施。開発者たちが集まり、情報交換を行う。
誰でも参加可能！、テーマ未定！、プレゼン・発言自由！

<その他の取組>

i.Labo : IAMASと連携して行う、まちづくり、ものづくりのデザインに関する勉強会。月1回。
ライトニングトーク : ソフトピアジャパン入居企業を中心に自由なテーマで「2分間プレゼン」を実施。